

2025 年度大学院入試  
前期日程（一般入試）

【出題の意図】

芸術の長い歴史において、表現者と聴衆・鑑賞者との関係は、表現の手法や技法など芸術の理論を発展させていく上で重要である。この関係において、21 世紀に登場し現在多くの人々が利用している SNS や動画共有サービスは、新たな聴衆・鑑賞者の層の現出につながり、これまでにない様々な表現が生み出されつつある。この新たな聴衆・鑑賞者の層に対して、表現者がどのように捉え、自身の創作との関係を結ぶかが、21 世紀以降の芸術表現の発展には必要不可欠な視点である。

この問では、自分にとっての聴衆・鑑賞者の位置付けと創作との関係を言語化し、具体的にどのような方策によって表現者と聴衆・鑑賞者を含めた芸術文化を形成するかについて、論理的な思考に基づいて論じられるかを問う問題である。

【解答（採点）】

芸術表現が表現者単独では成立せず、聴衆・鑑賞者との関係の中で形成されてきたという歴史観に基づき、創作と社会との関係について、論理的な思考に基づいて論述できているかを評価する。以下の観点を基準として評価を行う。

- SNS や動画共有サービスによって聴衆・鑑賞者の構造がどのように変化したかを踏まえて論じることができるか
- 自身の創作を社会的関係の中で捉えられているか
- 現代を形作る社会環境と表現者の関係を、表現者、あるいは聴衆・鑑賞者として自身の経験から位置付けができているか
- 創作と文化形成の関係を構想しているか